

熊本学園大学 × 熊本市西区 クマガク☆ジビエ料理研究会を初開催 12月2日（日）in 熊本市西区西部公民館

熊本学園大学経済学部で ICT（情報通信技術）を活用した地域課題解決の研究を行う境章教授のゼミでは、熊本市西区に協力し「クマガク☆ジビエ料理研究会」を初開催します。

2016 年に「鳥獣被害防止特措法」が改正され、捕獲した野生鳥獣は食肉（ジビエ）などとして積極的に利活用することが求められています。

熊本市西区でも、イノシシなどによる鳥獣被害の深刻化が課題となっていますが、ジビエを活用することで地域の活性化につなげようと、今回の料理研究会が企画されました。ジビエの持つ、家畜にはない風味や滋養効果などの魅力を知ってもらうとともに、多くの人に喜んでもらえる安全で美味しいジビエ料理を考案することを目的としています。

よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

- 日時 平成 30 年 12 月 2 日（日）10：00～13：30
- 場所 熊本市西区西部公民館 調理室（熊本市西区小島 2 丁目 7-1 西区役所内）
- 主な内容 参加者…個人またはグループで 6 組まで（1 グループは 4 名以内）
肉（ジビエ）400 グラム・野菜&調味料などの購入費 2,000 円を支給
参加者が考案したジビエ料理を調理・試食のあと参加者による投票
- 主催 熊本学園大学 経済学部 境章ゼミ

●境ゼミによる熊本市西区における取り組み●

情報科学を専門とする境教授の研究室では、これまで、西区が推進している国指定史跡・池辺寺跡を活用した観光開発に協力。現地でフィールドワークを重ね、池辺寺の歴史に関する情報発信や地元特産品を使った食の商品開発の提案などを行ってきました。境研究室ではオープンデータを活用した地域創生をテーマに活動しており、県内のさまざまな自治体で学生と地域住民による課題解決のためのワークショップ（アイデアソン）を実施。2018 年 11 月には、西区の課題解決のためのアイデア創出の機会として「クマガク☆にしくソン」を開催しました。これらの活動は、2017 年から一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が実施する「アーバンデータチャレンジ（UDC）」の地域拠点に選定されており、今回の料理研究会もその一環となります。

■本リリースについてのお問合せ

熊本学園大学広報室 Tel 096-364-8722 / Fax 096-364-6526